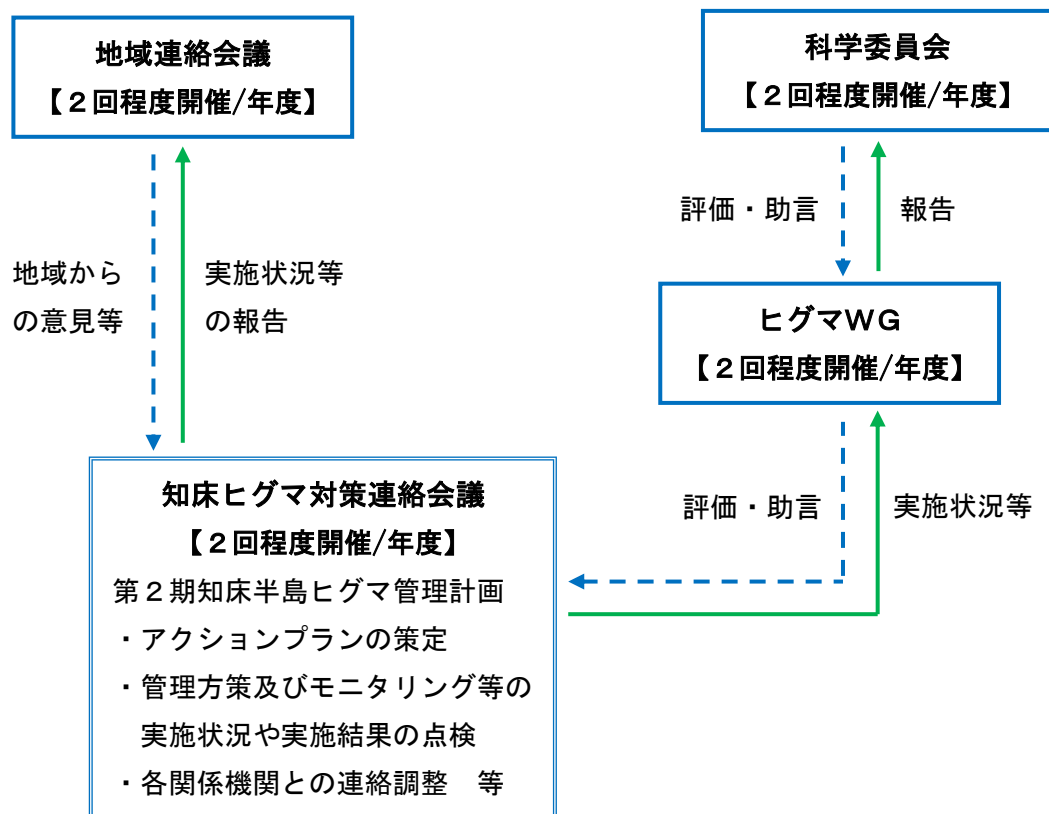


知床半島ヒグマ管理計画の進め方について

本計画を科学的知見に基づき推進するため、学識経験者からなる「知床世界自然遺産地域科学委員会」及びその下に設置される「エゾシカ・ヒグマワーキンググループ」を定期的開催し、計画の科学的な評価・助言を得る。また、管理計画に基づく各種対策を確実に計画的に実行するための年度ごとのアクションプランを定め、関係行政機関で組織する「知床ヒグマ対策連絡会議」において実施状況や実施結果を点検する。さらに、計画の実施について、地域の理解・協力を得るため、「知床世界自然遺産地域連絡会議」において定期的に計画の進捗や実施状況を報告する。

このほか、地域関係団体、地域住民、利用者に対しては、計画の内容について十分な広報周知を行いつつ、合意形成を図りながら本計画の対策を進めていく。

※第2期知床半島ヒグマ管理計画「12. (3) 計画の進め方」より



知床半島ヒグマ管理計画の進め方（イメージ）